

東京都  
武蔵境

アライグマ連続シンポジウム2012

日本のアライグマ：現状・対策とアライグマの  
感染症リスクをどのように回避するか

2012年9月2日(日)

日時：2012年9月2日13:00-18:00

場所：東京都武蔵野市境南町1丁目7-1

日本獣医生命科学大学

第1校舎C棟C501

主催：関西野生生物研究所

共催：日本獣医生命科学大学野生動物教育

研究機構・生物多様性JAPAN

参加無料 お申し込み無しで入場できます

お問い合わせ：関西野生生物研究所

075-551-3936 090-6076-7655

chipmunk@h5.dion.ne.jp

又は日本獣医生命科学大学野生動物学教室

0422-31-4151 (内線301)まで



狂犬病？  
寄生虫？

このシンポジウムは平成24年度経団連自然保護基金と  
平成24年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます

今、日本各地でアライグマの出没が大きな問題になっています。アライグマによる農作物への被害、自然生態系への被害、文化財や民家への侵入被害問題もありますが、アライグマは狂犬病や寄生虫症などの人へ危害を及ぼす感染症を運ぶ可能性があります。もし、狂犬病や寄生虫症を持ったアライグマが侵入してきたら、どのように、そのリスクを回避できるか、今のうちにしっかりと考えてゆかなければなりません。各地の貿易港には世界各地からたくさんの船がやってきます。その船に動物が乗っていて、秘かに上陸したら、それらの動物とアライグマが接触したら、危険な病気が広がるかもしれません。このシンポジウムでは全国のアライグマの現状、各地の対策、アライグマの繁殖生態、アライグマ寄生虫症や狂犬病のもたらすリスク、アメリカでの狂犬病対策の実例について話題提供いただきます。

### プログラム

13:00-13:10 開会挨拶

第1部——アライグマの現状と繁殖生態 司会 川道美枝子氏 (関西野生生物研究所・立命館グローバル・イノベーション研究機構客員研究員)

13:10-13:40 外来種問題の概要と法制度 羽山伸一氏 (日本獣医生命科学大学獣医学部教授  
兼 野生動物教育研究機構機構長)

13:40-14:10 日本のアライグマの現状 金田正人氏 (関西野生生物研究所)

14:10-14:40 アライグマの繁殖生態 加藤卓也氏 (日本獣医生命科学大学獣医学部助教  
兼 野生動物教育研究機構機構研究員)

第2部——寄生虫や狂犬病のリスクを考える 司会 竹下信雄氏 (生物多様性JAPAN)

14:50-15:30 外来種アライグマにおける寄生虫病疫学と宿主-寄生体関係の生態学  
浅川満彦氏 (酪農学園大学獣医学部教授  
兼 同大野生動物医学センター施設担当)

15:30-17:20 アメリカの狂犬病対策とアライグマ Dennis Slate氏  
(Science Advisor for the USDA Rabies Management Program)

逐語訳通訳 高橋満彦氏 (富山大学)

17:20-17:50 質疑

17:50-18:00 閉会挨拶 関西野生生物研究所



交通：JR 中央線「武蔵境」駅南口から  
東へ徒歩2分

<http://www.nvlu.ac.jp/index.html/>